教育のフロンティア

NO.298
2025 8-9 月

認定NPO法人　北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
（振込先：郵便局　02790-5-51893　認定NPO法人北海道自由が丘学園）
〒062-0051　札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11　TEL（011）858-1711　FAX（011）858-1333
URL https://www.hokjioka.net　E-mail：codmokan@b216.blowth-net.co.jp

支援会員・寄金　3,000円（年額）
＊会員には、本通信を配布します。



■■ INDEX ■■

P1：巻頭言
P2-3：ヒューマントラスト/運動、会費納入他
p4-5:7/17-18「サマーキャンプ」
p6:初等部便り
p7:居場所・お家 7/26「卒業生トーク」
p8:エッセー/カレンダー他、＊「チラシ」

◆7月 21 日:まおい小学校のイベント
・Am 売店～1.2 階一杯に食べ物・グッズ
・11 時:演劇「アリスの・・」～熱演でした
・Pm 運動会、(家族等 300 名規模参加)

「小学校６学年が揃って、中学校開校に向かう」

㈱学びのさと自由が丘学園・理事長（兼小学校校長）　細田孝哉

開校三年目となり６学年*が揃い、フル学年のもとに夏を迎えました。

子ども達は、開校年度の混沌とした状況から、二年目の成長、三年目のさらなる伸長を見せています。5・6 年生が話し合い*や活動の場面でリードしたり、トラブルやぶつかり合いを自分達だけで折り合いをつけられようになり、必要な場面で大人を頼ることができるようになりました。

1 年生もそれを見て学び活動できるようになっています。大人の方がついついアドバイスをしようとすると「今、考えてるんだから、黙ってて！」と言われ、先回りせず見守る姿勢の大事さを振り返えさせられることもあります。スタッフも学んでいます。

7 月 21 日、海の日に実施した《夏の運動会」》は、午前に演劇の上演があり、午後から参加自由の４種目ミニ運動会がありました（一部自由種目には親も参加）。その日の午前中、各プロジェクトのバザーでは、かき氷、飲み物、パンケーキ、サンドイッチ、染めたり描き上げた服飾品などの販売がありました。三年連続で来校している保護者からは、「年々クオリティーが上がっていますね。今年は本当の喫茶店レベルです」との声も聞かれました。

さて、来春は中学校開校**です。中学の学びは探求/論議がより一層深まり、子ども達が感情も知性も加速度的に成長し成熟に向かう姿が期待され、楽しみです。一方、それに向けての校舎施設の整備が必要であり、その支援をお願いしているところなので、皆様のご協力もお願いします。

[注:*‘23 年度開校時は 1-4 年生でスタート。その４年生が本年６年生、一部転入生も受入れ。ミーティングは全学年＋スタッフも参加し毎週開催。一人１票。 **西日本６県で展開する「きのくに子どもの村学園」も小中一貫の体験探求型学習を 30 年来推進中。本体の和歌山県橋本市には高等専修学校も併設している。(編集子)]